

報告日 令和7年9月17日
報告回次 1回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-----------|-----------------------|--------|------------|-----------|--------------|
| 団体名 | 江別市 | | | 代表者名 | 江別市長 後藤 好人 |
| 担当者部署(属性) | その他 | 担当者部署名 | 総務部庁舎建設推進室 | 連絡先電話番号 | 011-398-9935 |
| 担当者役職 | 主査 | 担当者氏名 | 日下部 快 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 067-8674 北海道江別市高砂町6番地 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

| | |
|-------|---------|
| 団体名 | 連絡先部署 |
| 担当者氏名 | 連絡先電話番号 |

1-3. 支援を求める内容

| | | | |
|----------|---|-----|---------|
| 支援方法 | 職員向け啓発・研修（単独） | 事業名 | 本庁舎建替事業 |
| 概要 | 新庁舎建設に向けて、より一層行政のDX化や窓口改革に関する全庁的な意識醸成を図るため、講演会などの支援をお願いしたい。 | | |
| 支援を求める分野 | 人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） | | |

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| 2-1. 対応日・時間 | 期日・支援内容の変更あり | 受付番号 | 変更後の派遣日 | 変更後に実施した支援内容 | 実地/オンライン |
|----------------|---------------|--------------|-----------|--------------|----------|
| | 有 | 667 | 令和7年9月17日 | 講演 | 実地 |
| | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | 令和7年7月30日 | 講演（実地） | 13時30分 | 16時30分 | |
| | | | | 活動時間（分） | 180 |
| 2-2. 派遣場所 | 会場名 | 江別市民会館 | | 最寄駅 | 高砂駅 |
| | 所在地 | 北海道江別市高砂町6番地 | | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩5分程度 |

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|------------------------------|--|
| アドバイザー | 高橋 邦夫 |
| 評価 | 大変良い |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に） | アドバイザーが元自治体職員としての経験を踏まえた講演や、支援した他市自治体の具体的な事例について話があり、非常に説得力があった。 |
| アドバイザーへの要望事項 | アンケート集計後、それらを整理・分析し、今後の方針等を検討する予定でありますので、その際は引き続きご支援・ご助言をいただけますようよろしくお願ひいたします。 |

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| 4-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | | | 合計人数 | 150人 |
|----------------|-------------------------|-------|-----|-------|-----------|
| | 属性 | 自治体職員 | 住民 | 企業・団体 | その他(学生など) |
| | | 人数 | 150 | | |

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

| | |
|----------------------------|--|
| 事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) | 統一化されていない申請書や紙による手続、執務空間を圧迫している書類など、DXが進まないことによる行政サービスも執務環境も低下といった現状である。新庁舎建設におけるDX化や窓口改革は、庁内の全職員が自分事として捉え改革に取り組むことが必要と考えるが、通常業務に追われ理想の姿を描くことが難しく、自分事として捉えられない職員がいる現状から、これといった進歩が見られないことが課題とされる。 |
| 支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい) | 新庁舎建設を機に、職員一人ひとりのDXに対する意識改革を全庁的に推進し、DXが単なる業務効率化だけではなく、市民サービスの向上、働き方改革及び組織全体の活性化へ繋がることを認識させる。また、新庁舎では、新しい窓口、働き方、行政サービスなどを提供することで、市民と職員双方にとってより良い環境を実現する。 |

| | |
|---|---|
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | 自治体がDXに取り組む背景(必要性)について、国が進める方針やICTツールの活用事例などの具体例を提示しながら、DXを推進することで新しい市民サービスをどのような形で提供できるかという、その考え方や思考について、講演をとおして説明された。 |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | DXというとシステム導入を連想する職員も多い中、今回の支援では、まず「自身の業務を見直し、本当にやるべきことなのかどうか、やめることから始める」という講演内容が、多くの職員のDXに対する意識を変えたと認識している。 |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ①事業に係る計画書等を策定できた |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 意識改革は進んだものの、具体的な業務プロセスへの落とし込みや、システム導入を含めた具体的な改善策の実施には至っていない。 また、DX推進のための体制整備が遅れており、専任の担当者を配置したり、推進チームを設立したりするなど、組織的な取り組み体制がまだ整っていない。 |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 集計中のため後日提出予定。 |

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 ○掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

